

NEWS

「電気式水分計」販売開始

悪徳リフォーム業者による床下関連商品の販売トラブルが問題となりました。お客様に正しい情報を提供した上で、販売施工することが求められています。

そこで、私共が推薦するのが、木材含水測定機です。

床下の現状、床下換気扇の必要性を正しく理解していただくために、また床下換気システム設置の判断基準として、木材含水率測定をしていただくことを強くおすすめいたします。

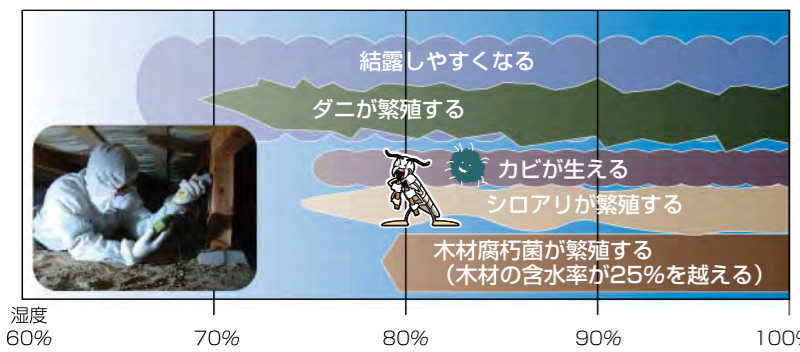


品名 電気式水分計
品番 本体 MR-200 プローブ TG-PA
価格 120,000円
本体 70,000円 プローブ(センサー部) 50,000円
※測定にはプローブ(センサー部)が必要となります。

含水率の目安

25%以上	環境改善の対策の必要があります。
20~25%	予防処置や環境改善の対策を行うことをおすすめします。
15~20%	定期的な点検や予防処置を行うことをおすすめします。
15%以下	現時点では問題ないと思われます。

湿度が高くなるとおこる屋内(床下・天井裏を含む)の変化



INFORMATION

床下診断コーナー開設

自分でできる床下簡単診断

床下の腐朽やシロアリの被害。これらは住まいの大敵「湿気」によるもので、土台の強度までも劣化させます。

大切なマイホームですから床下保全は大切です。ですが、きちんと納得されたうえで対策を検討されることが重要です。とはいうものの「建築のことはよくわからない」「専門知識がないからどうすれば・・・」という方がほとんどでしょう。

当社では簡単なチェック項目で床下診断が自分でできるプログラムを当社ホームページ上に開設します。「自分の家には床下換気扇が必要なのか?」「床下換気扇を設置したいがどのくらいの台数をつけるの?費用は?」等の疑問解決にお役立てください。

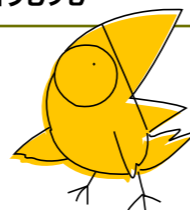


「風之介ユニット」新発売

天井裏の結露対策に効果的



夏場における熱気対策ももちろんですが、四季を問わず屋外との温度差が原因で発生する天井裏結露が問題になっています。「風之介ユニット」は、結露による木材腐朽や強度劣化対策に向けた「風之介」シリーズの新ラインナップ。ぜひともご活用ください。



工

HISTORY OF S
西邦電機 小史

第12回
「先行き不透明な再開」

工場長と私はお互いそりがあわず、会話もとぎれとぎれだった。
翌朝、長崎工場に出社し部屋で待機していたが工場長からの動きはなかった。九時ごろになって私から部屋に呼んだ。工場長は「あ、そう、天石さんとはいろいろありますが、お願いします」と言った。
私は三つの条件を付けた。まず、製造部の百二十人たちに私の部下につける。工場長は私の仕事にタッチしなくて結構、これが第一。第三は、すべての製造の仕事は私が見る。そう言って即刻現場の責任者を集め、一人ひとりに指示をした。
ラインが動き出し、「すべて順調です。問題ありません」と報告があった。
夕方までに五百台を生産し、本社に届けた。「苦勞さん、早かったな、さすがや。ところで明日はなんぼできるやろか。一〇〇〇台はいけるか」
「いけます、いけます。もちろん大丈夫ですわ」
事業部長は大阪と打ち合わせを

した。私はその結果を見届けて、その夜のうちに長崎に舞いもどった。二日目から、月産五万台ラインの日産二〇〇〇台になった。
生産ラインが進む一方で、時間との戦いがはじまった。
猶予期間は二ヶ月だった。二ヶ月が過ぎると、約束どおり製造部の大半は、元の職場にもどさなければならぬ。
元いたパートは、それぞれ他の会社に勤めており、なかなか集まりそうもなかった。人員が集まらなければ、この仕事は、その時点で終わってしまう。
私に与えられた時間は二ヶ月である。二ヶ月は長いようで短い。その間にパートの体制を固めるのも、私の重要な仕事だった。
会社は、パートの採用について、最も長くて三ヶ月と、雇用期間を設けていた。オイルショック後の不況で、苦しい思いをした会社が、労働組合と協議のうえで協約書を書いたのだった。
三ヶ月の契約では辞めた人を呼びもどせませんよ。現場責任者の言うことは、私もよくわかっていった。
ここであつた経験のないパートを入れても、巻線などの技術は三ヶ月で覚えきれぬもので、はなから、月産五万台の生産力は五分の一落ちかねない。
やはり、ここは半年前に解雇した、およそ五十人の熟練パートにもどつてきてもらうよりほかに方法は無い。
私にはある考えがあつた。さっそく、労働組合の書記局を本社に訪ねた。

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

去年は業界にとって試練の年でありました。
今我々には、消費者への信頼回復に向け真正面から取り組むことが求められています。弊社におきましても、今年度は原点に帰り「正しい商品・正しい販売」というあたりまえのテーマをさらに深く追求してまいります。
具体的には昨年発足しました「床下換気扇メーカー会」とあわせて当面の課題であります消費者の信頼回復に対する様々なアプローチを実施いたします。地道な活動の積み重ねが、一番の近道と信じ一杯努力して参りますので、何卒、本年もよろしくお願ひ申し上げます。

平成十八年 元旦

西邦電機株式会社
代表取締役 大石龍也



「タービン・ユニット i シリーズ」 発売開始しました

タービン・ユニット i Type A i / Type B i

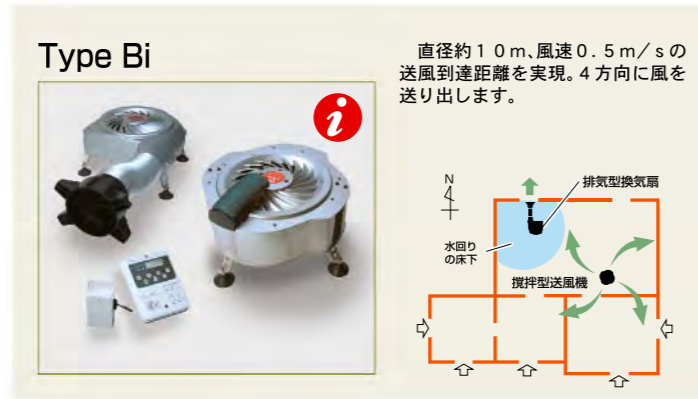
■ 異常センサー付換気扇



ファンのロックやモータに異常が生じた場合、異常センサーが異常を検出し、コントローラーに表示することが可能となります。正常に作動するか、わかるようになり安心です。



■ハイブリッド・コントローラーの点検ランプが点滅し、異常をお知らせします。



ハイブリッドコントローラーオプション

■ 好評床下浸水センサー



水漏れしそうな所に設置し、ハイブリッドセンサーに接続することで、床下浸水や水漏れ時に、換気扇の通電をストップさせ、床下の浸水をコントローラーに表示することが可能となります。

■床下浸水センサーは水漏れしそうな所(台所・風呂場付近の床下)や換気扇付近に電線を下にして設置します。



■ハイブリッド・コントローラーの点検ランプが点滅し、異常をお知らせします。

タービン・ユニットTypeA/TypeBそれぞれの効果的な設置について

タービンユニットは必要最少限のシステム構成で最大限の効果を発揮することを大きな目的としています。そのためには効率的な機器の配置が大切なポイントになります。今回は、風の流れを視覚的に把握していただくために代表的な設置例を気流シミュレーションにより解析いたしましたので今後の設置時のご参考にご活用ください。

流体解析ソフト：FL DESIGNER

Type A 1.9坪

Type A 1.9坪

Type A 1.9坪

Type A 1.8坪

Type A 1.9坪

Type A 1.9坪

Type B 2.0坪

Type B 2.0坪

Type B 2.0坪

Type B 1.7坪

拡散型の吸込み力を使って中間ファンとして利用し、風の流れを一定方向にして排気する設置法

近くに換気口の無いコーナー部分から、積極的に送風することにより、床下全体の風の流れを作り、排気をアシストする設置法

左右の独立した空間から、拡散型の吸込み力を利用し、中央に集約して排気型をアシストする設置法

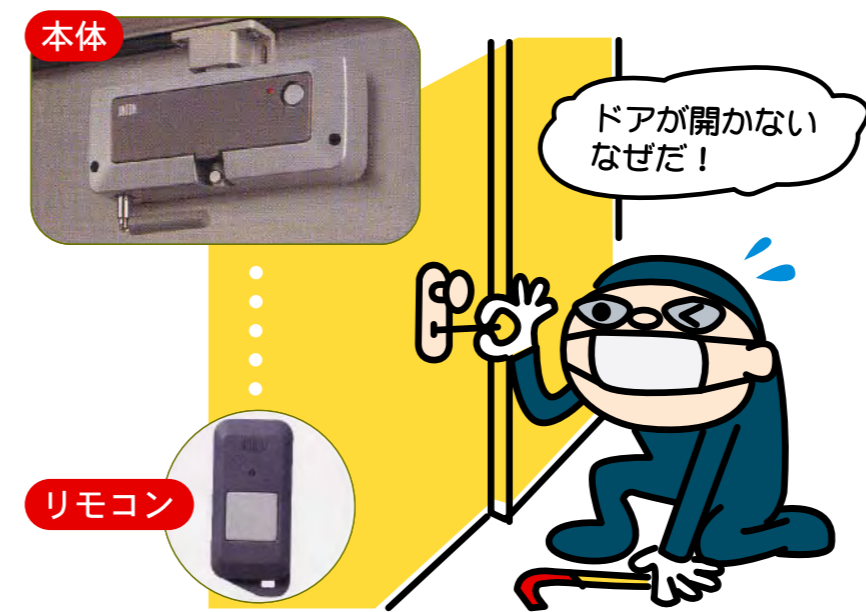
独立した空間のよどみを無くすよう積極的に攪拌して風の流れを作る設置法

新製品紹介

リモコンドアガードシステム 「ケアガード2」 発売

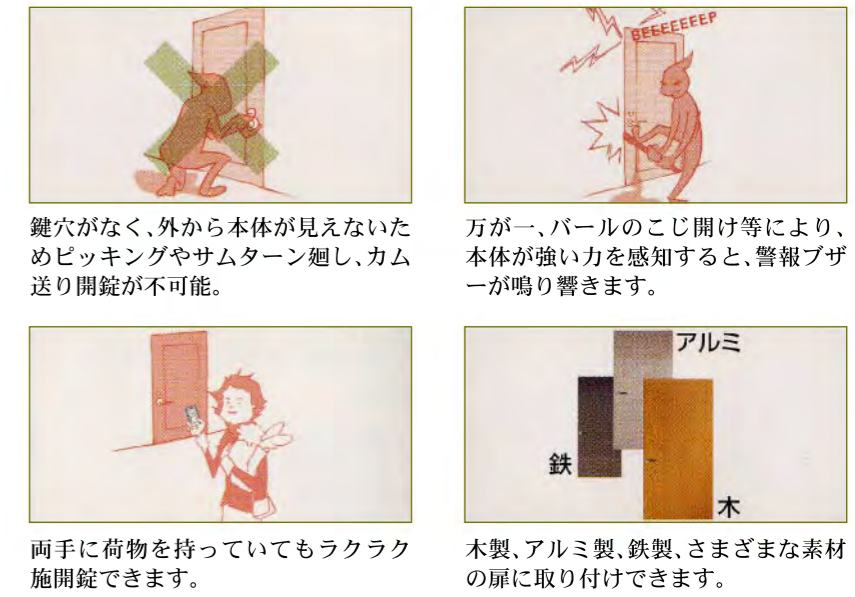
ピッキング・サムターン廻し対策に！有効です。

西邦電機では「ライフディフェンス2」発売に先がけ、「ケアガード2」の販売を開始いたします。手軽で優れたセキュリティアイテムですので皆様のビジネスにぜひ活用ください。



(施工はライセンス制となります。詳しくは当社営業またはLD事業本部までお問い合わせください)

関東支店：048-863-1133 担当：三宅
 関西支店：06-6854-6077 担当：伊藤
 九州支店：092-595-0704 担当：福原



NEWライフディフェンス 夏発売予定

ホームセキュリティシステム「ライフディフェンス」が今夏、バージョンアップします。外出時のワンタッチ警備やエリア警備など高い機能性と使いやすさを兼ね備えたモデルです。

販売店のニーズに応え、拡張性や施工性も大幅に向上したNEWライフディフェンスにご期待ください。

※イラストは実際の製品とは多少異なる場合があります。

※2005秋発行のウインド・フロム・フューチャー (VOL.11) のNEWSコーナーで無線センサーは最大60ヶまで使用できる旨の文を掲載しましたが正しくは30ヶの誤りでした。お詫びして訂正いたします。

悪徳リフォーム問題について、プレスリリースによるマスコミへのアプローチ

一部の悪徳リフォーム業者による床下関連商品の強引な販売が社会問題になりました。すでに法改正等によって悪質といわれる販売会社の活動はほぼなくなっておりますが未だ風評被害による業界のイメージダウンは改善されておられません。

西邦電機及び床下換気扇メーカー会では、「床下換気」について正しい知識を伝えるべく報道関係者向けにプレスリリースを行っております。一部の専門誌等には情報掲載されましたが残念ながらまだまだ力及ばず大きな動きにはなっておりません。今後も継続して活動を行ってまいりますので何とぞご支援いただきますようお願い申し上げます。

上：世界でいちばん自分らしい家 (新しい住まいの設計図集)

右：プレスリリース用WEBサイト

■報道関係者向けプレスリリース

SEASONS COLUMN

風と住まい

住宅産業に携わる識者のレレーコラム

「換気的重要性」耐震効果」

WINTER EDITION

日 本の国土面積は、地球の表面面積のわずか〇、二%でしかないのに、世界で発生する地震の約十一%が集中しており、まさに地震大国です。平成七年阪神淡路大震災や平成十六年新潟県中越地震、福岡でも平成十七年西九州地震等が発生しており、家屋の倒壊が数多くみられました。地震や台風など災害の多い日本では、耐震性や耐久性についても建築基準法で厳しく定められています。

現代の住宅は床下が低く、中基礎を細かく仕切り、耐震性を高めています。低く複雑に区切られた基礎は床下の空気が非常に通りにくくなってしまっています。とくに、床下の隅の方や、水周りの床下は湿気を多く含むため、重たく空気が動きにくくなります。

停滞した湿気を含んだ空気は木材の含水率を上げ、シロアリや腐朽菌を発生させやすく木材強度劣化につながってしまいます。

そこで、換気対策として強制的に風の流れを作る事ができる換気扇を設置するという方法があります。

これはただ単に湿気を屋外に排出するだけでなく、床下や天井裏に空気の流れをつくる事ができます。空気の流れている場所は腐朽菌の繁殖は見られません。それは、風が通っていれば菌の根は残るが、表面の部分が風に飛ばされるので発育しにくくなるのです。また、木材含水率の上昇を抑えることができ、シロアリやカビ、腐朽菌の繁殖しにくい環境をつくり、住宅の強度をいっまでも保つことができます。

このことは、天井裏でも例外ではありません。天井裏は雨時に、雨が入らないように小屋裏換気口を、小さくする作りになっています。この関係で天井裏の換気が容易でなく、結露、空気の淀みにより木材は水分を吸い木材の強度が低下し、台風時には屋根が吹き飛ばされる事もあります。また、鉄骨住宅に関しては、昼と夜の温度変化により鉄骨の部分に結露による水滴が発生しやすく、それが天井部に落ち、カビの発生や天井のコンパネ等が腐り落下の原因になる恐れもあります。

この事からも天井裏にしても、強制換気装置を用い湿気を取り除くこと、住宅を長く持たせ安全快適な居住空間ができるかと考えます。

工学博士・一級建築士 須貝 高氏

東京大学建築学科博士課程終了
 福岡大学工学部建築学科教授
 「九州住まいづくり研究会」主宰
 「住まいをいかに長く健康に保つかについてさまざまな研究を行う。」
 「床下換気メーカー会」アドバイザー